


※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

No. 44

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	ミヤモト リュウスケ			
氏名	宮本 隆介			
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> (区)			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又はプランづくり等	○		<input type="checkbox"/> 地域まちづくりプラン <input type="checkbox"/> 地域まちづくりルール <input type="checkbox"/> 地区計画 <input type="checkbox"/> 建築協定 景観計画 景観協定 <input type="checkbox"/> まち普請事業 <input type="checkbox"/> その他地域のまちづくりに関する計画	
市街地開発事業等			土地区画整理事業 市街地再開発事業	
防災まちづくり等			横浜市の制度を活用した地震火災対策 密集市街地の改善 防災・減災の指導	
その他得意とする分野（複数選択可）	地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等） 防犯 水・緑・環境 歴史・文化・アート <input type="checkbox"/> 空き家・空き地の利活用 <input type="checkbox"/> 商店街活性化 狭あい道路整備 耐震改修 共同建替 <input type="checkbox"/> コミュニティの再生 地域の活動拠点運営 地域交通サポート事業 <input type="checkbox"/> ICT・WEBの活用 その他（ ）			
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	建築協定	横浜市青葉区 鴨志田町第一地区	平成28年度 ～30年度	■建築協定の更新（廃止および策定）支援 ・ まちづくりカルテ、見直し方針の作成 ・ アンケート票の作成・分析支援 ・ 協定区域の変更（協定の廃止）の検討 ・ 建築協定基準内容の合意形成 ・ ニュースの作成支援 (平成30年度 建築協定認可)
	建築協定	横浜市金沢区 西柴団地地区	平成26年度 ～27年度	■建築協定の策定（更新）支援 ・ アンケート票の作成・分析支援 ・ 建築協定基準内容の合意形成 ・ ニュースの作成支援 ・ 地権者情報（1550件）の整理 (平成28年度 建築協定認可)

（注意）支援専門分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。（200文字以内かつ9行以内）
	地区計画	相模原市緑区 西橋本一丁目地区	平成29年度 ～令和元年	■地区計画地元案の策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 類似事例の紹介 ・ アンケート票の作成・分析支援 ・ 地区計画案の作成 ・ 地元説明会の開催支援 ・ 案作成のための合意形成の助言 (令和2年度 都市計画決定)
	地域まちづくりルール&地区計画	横浜市金沢区 金沢幸浦二丁目マーチャングレインセンター地区	平成20年 ～平成23年度	■地区計画地元案の策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区計画制度の解説、類似事例の紹介 ・ アンケート票の作成・分析支援 ・ 地域まちづくりルールを踏まえた地区計画案の作成 ・ 地元説明会の開催支援 ・ 案作成のための合意形成の助言 (平成24年度 都市計画決定)
	地域まちづくりルール	横浜市都筑区 東山田準工地域	平成24年度 ～平成26年度	■地域まちづくりルールの策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート票の作成・分析支援 ・ まちづくりルール基準内容の作成 ・ 地元説明会の開催支援 ・ ニュースの作成支援 ・ 地域まちづくりルール認定資料の作成支援 (平成26年度 認定)
	地域まちづくりルール	横浜市栄区 湘南桂台自治会地区	平成28年度 ～令和2年度	■地域まちづくりルール案の検討支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ ルール案に関する合意形成 ・ アンケート票の作成・分析支援 ・ 地区区分に応じた段階的基準づくり ・ 地元説明会の開催支援 ・ 地域まちづくりルール認定資料の作成支援 (令和2年度 認定)

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

1. コーディネーターの役割

横浜市内で2008年から9地区に関わるなかで、まちづくり課題の変化を感じました。コーディネーターの役割は、利害関係者が課題を共有し、対応し続けるコミュニティとなるように働きかけ、ちからづけることです。近年、特に気をつけているポイントを挙げます。

2. まちづくりのポイント

1) まちづくりの目的を共有する

検討の初期段階では反対意見も含めて多くの人のお話を聞き、まちの将来像やまちづくりの目的を一緒に考え、地区全体で共有します。まちづくりの目的は意見対立を解決する判断基準です。

2) コミュニティの信頼関係を築く

まちづくり組織と課題意識が違う人に対しては、第三者的な立場での調整が必要です。コーディネーターがその立場を担いつつ、地元がルール運用することを見据え、地元リーダーらが利害関係者の信頼を得られるように促します。

3) 成功・失敗事例を生かす

類似地区からまちづくりの効果を知ることができます。合意形成の場面では、「うまくいかなかった」失敗事例から学べる場合があります。まちづくりの意義を理解できるように、事例を生かして助言します。

必要に応じて資料をA4判1ページまで添付できます。